

# 地域史料管理マニュアル

〔所蔵者用〕

## ◎自宅で史料を保存する際の参考にしてください!!

### ①【保存場所】

直射日光が当たる場所や、湿度が高いじめじめした場所、温湿度変化が激しい所には出来るだけ置かないようにしましょう。史料にとって居心地のよい場所が温度：20～25℃ 湿度：55%前後です。保存場所の目安にしてください。

### ②【保存容器】

すでに中性紙の文書保存箱に入っているなら、そのまま、封筒からも出さないようにしましょう。もし、ご自宅で容器を用意されるなら、フタがきちんと閉まるものにしてください。

### ③【防虫剤】

- ◎ 市販の衣料用の防虫剤で構いません。  
入れる目安は中性紙箱（約36ℓ）  
1箱につき防虫剤を**1～2個**程度。
- ◎ **2種類以上**の併用は避けてください。
- ◎ 防虫剤の成分は空気よりも重く沈むので、**史料の上部**※1に置いてください。
- ◎ 取替サインが出るものもありますが、防虫剤を和紙などで包み、表面に設置した**年月日**を記しておくのも目安になります※2。



古文書に付いた虫のフン



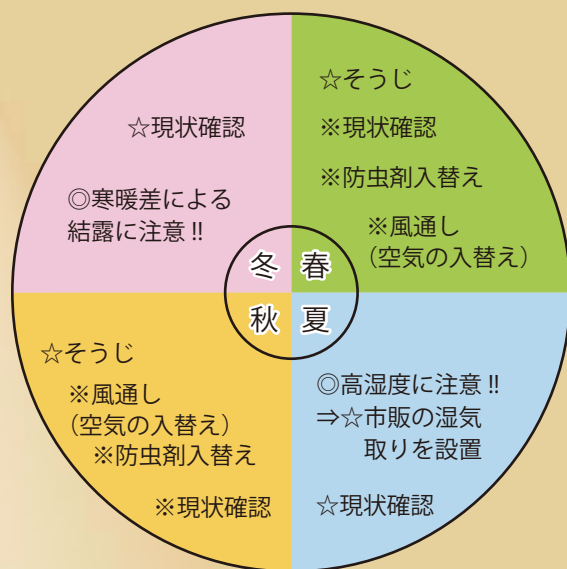
黒カビが生えた古文書



※1 防虫剤は史料の上部に置く



※2 入れ替えた日を書いておく



史料管理カレンダー



☆スノコを敷く



※風通しはフタをはずす  
1時間～半日程度、空気の入替えをする。この時虫のフンなどがいないか、現状確認を行う

※：必ずお願いしたいこと  
☆：出来ればお願いしたいこと  
◎：特に注意してお願いしたいこと

◎もし、虫のフンを見つれたり、カビが発生してしまったら  
裏面の連絡先まで、ご連絡ください!!